

令和7年6月14日 10:00~12:00
大阪府立槻の木高等学校 応接室

令和7年度 大阪府立槻の木高等学校 第1回学校運営協議会

委員

会長 渡辺 将史(本校 PTA 会長)
副会長 岩元 優子(高槻市立第一中学校校長)
委員 瓜生 彩子 官田 光史 宮坂 政宏
【欠席】 田中 隆夫

事務局

浅田 和也(学校長) 水井 理弘(事務長)
坂口 亮(教頭) 江菅 純一(首席)
【欠席】 小川 大樹(教頭) 井上 公彦(首席) 安福 美香(学習指導室長)

本日実施している、土曜講習の見学および施設見学

次第

1、開会

委員紹介
学校長挨拶
会長挨拶

学校運営協議会の開会が宣言され、委員の紹介が行われました。今年度より岩元優子副会長が新たに就任されました。

2、令和7年度 学校経営計画及び学校評価についての説明(浅田 和也)

- ・めざす学校像について
- ・中期的目標について

要約

学校経営計画と学校評価について議論されました。主な話題は、進学を重視した全日制普通科単位制高校として、これまで培ってきた本校の取り組みの良い点を残しながら、新たな槻の木高校へと進化するために何ができるのかを議論されました。槻の木高校では、学業だけではなく、学業と部活動を両立できる文武両道を実践できる学校であること、またその重要性を説明され、今年度も85%以上の部活動加入率であることを説明されました。また、教職員の働き方改革の趣旨を踏まえ、現状の勤務時間外在校時間の縮減へ向けた課題や取り組みについても議論されました。

3、協議

本校の学校改革 PT の取り組みについて江菅首席から説明されました。学校改革 PT の設置目的と進行状況について、また検討中の改革内容について議論されました。

【学校改革 PT 設置目的】

少子化が進行する中、本校の志願倍率の低下が著しい傾向にある。本校が持続していくためには、志願倍率低下の波に抗う対策を講じる必要があるため学校改革 PT を設置した。PT において、志願者倍率低下の原因、志願者・生徒のニーズの調査・研究を行い、本校の教育システムについて、教職員の働き方改革の視点も踏まえながら、見直し及び変更の検討を行い、修正システムの提案を行う。

【進行状況】

以下のように広報活動を強化する。

- ・例年 10 月に開催しているオープンスクール(クラブ体験)を6月 21 日(土)にも実施。
- ・学校説明会やオープンスクールの案内チラシの内容充実(部活動実績や NEXT STAGE 紹介)し、案内チラシを印刷業者に依頼し両面カラー刷りとする。
- ・学校公式 Instagram の開設(2025年1月より運用開始)
- ・在校生や卒業生、保護者の声を学校説明会資料に掲載

【検討中】

- ・教職員の働き方改革の趣旨を踏まえ、就業時間を見直す。また、これに伴って始業時間の変更を検討していることが校長より説明された。
- ・土曜講習の在り方や、7限授業についても検討を進めていく方向性である。

委員からの意見

- ・将来へとつなぐ学校側の考えを聞かせていただいた。志願者の減少については、高槻市の子の減少数が、定員割れの数字とほぼ同じと考えている。
- ・槻の木高校のイメージは、穏やかで進路を見据えた生徒が行く学校である。
- ・中学校側がやらなければならないことは、中学教員と保護者が普通科単位制高校の理解を深めること。
- ・情報発信の一つとして Instagram を利用するのは、中学生には非常に効果的であると考え。実際に Instagram を見て校風を確かめ、志望校選択材料の一つにしている生徒はいる。
- ・保護者へ向けたアピールとしては、高大連携や進学実績のアピールが効果的であると考え。
- ・地域(高槻)に根差した教育活動を今後も頑張ってもらいたい。
- ・Instagram を用いた広報活動は素晴らしいと思う。ただ、今年度カラー刷りになったチラシの内容を見ると、オープンスクールや学校説明会の詳細をもう少し掲載した方がよいと思う。「詳細は HP でご確認ください。」だけでは、HP を見ない人もいるので、分かりやすく魅力的なメニュー(プログラム)があることを掲載すると、より効果的ではないかと感じた。(例えば、クラブ名や教科名など)

4、次回会議日程の確認と閉会

次回は10月25日(土)に実施予定。

今回と同様に学校運営協議会の前に授業見学、施設見学を予定している。